

岐阜高専と米国アイオワ大学が包括的な交流協定を締結

平成 25 年 4 月 12 日、岐阜高専北田敏廣校長は、米国のアイオワ大学(Univ. Iowa)を訪問し、学長サリー・メイソン博士、大学院・研究担当の副工学部長グレゴリー・R・カーマイケル教授らと共に、岐阜高専-アイオワ大学の包括交流協定に調印した。

アイオワ大学は、1847 年に創設され、10 学部・大学院（医学、歯学、教育学、工学、法学、文学&理学、薬学、公衆衛生、看護学、ビジネス学）に、30000 人を越える学生を擁する総合大学である。

協定の内容は、学生の交換、教員の交換、共同の研究も可能にする包括的なものである。岐阜高専では、教員間の交流推進をベースに、専攻科生が先方の工学部教員の研究室で短期の研究指導を受ける“海外インターンシップ”先としての交流を行う。



アイオワ大学メイソン学長と岐阜高専北田校長



左から、副工学部長カーマイケル教授、メイソン学長、北田校長